

模擬試験 問題 <3級>

第1問 (20点)

下記の取引について仕訳して下さい。ただし、勘定科目は、次の勘定科目を参考にして下さい。

現金 小口現金 現金過不足 当座預金 普通預金 受取手形 売掛金 前払金
立替金 貸付金 手形貸付金 未収入金 仮払金 未収利息 未収手数料 前払費用
繰越商品 建物 備品 土地

支払手形 買掛金 未払金 前受収益 前受金 仮受金 商品券 社会保険料預り金
所得税預り金 借入金 手形借入金 貸倒引当金 建物減価償却累計額
車両減価償却累計額 備品減価償却累計額 資本金

売上 受取利息 受取手数料 固定資産売却益 償却債権取立益 雑益

仕入 給料 広告宣伝費 旅費交通費 水道光熱費 保険料 通信費 消耗品費
発送費 租税公課 支払地代 貸倒損失 修繕費 支払利息 支払手数料
貸倒引当金繰入 減価償却費 雑損 固定資産売却損 損益

1. 得意先長者ヶ崎商店に商品 ¥100,000 (原価 ¥60,000) を売り上げ、代金のうち ¥20,000 は注文時に受け取った手付金と相殺し、残額は月末の受け取りとした。なお、商品の発送費用 (先方負担) ¥3,000 を運送会社に現金で立替払いし、掛代金とは区別して計上した。
2. 取引銀行から短期資金として ¥1,000,000 を借り入れていたが、支払期日が到来したため、元利合計を当座預金から返済した。なお、借入にともなう利率は年1.2%、借入期間は当期中の9ヶ月であった。
3. 一昨年度に購入した備品 (パソコン) が故障したため、その修理費用として ¥30,000 を現金で支払った。
4. 得意先葉山商店から同店振出の小切手 ¥200,000 が送付されてきたが、現時点でその内容は不明である。
5. 前期の売上により生じた売掛金 ¥100,000 が貸し倒れた。なお、貸倒引当金の残高は ¥90,000 である。

第2問 (10点)

藤井商店の5月中の買掛金に関する取引の勘定記録は以下の通りである。

下記勘定の空欄A～Eに適切な語句を、空欄①～⑤に適切な金額を記入しなさい。

なお、語句は次に示した[語群]の中から選択すること。

なお、仕入先は下記2店のみとし、各勘定は毎月末に締め切っている。

[語群]

現	金	普通預金	返	品
仕	入	前月繰越	次月繰越	

総勘定元帳

買掛金

9日 仕 入 () 15日 (A) 300,000 () 仕 入 (①) 25日 (B) (②) 31日 (C) 270,000 <hr style="border: 0.5px solid black;"/> ()	1日 前月繰越 300,000 8日 (D) (③) () () 800,000 <hr style="border: 0.5px solid black;"/> ()
--	--

買掛金(仕入先)元帳

二子玉川商店

9日 返 品 (④) 15日 現金払い () 31日 () 190,000 <hr style="border: 0.5px solid black;"/> 500,000	1日 () () 8日 仕 入 400,000 <hr style="border: 0.5px solid black;"/> 500,000
---	--

吉祥寺商店

22日 () () 25日 普通預金払い 900,000 31日 () (⑤) <hr style="border: 0.5px solid black;"/> 1,000,000	1日 (E) 200,000 21日 仕 入 () <hr style="border: 0.5px solid black;"/> 1,000,000
--	---

第3問 (30点)

答案用紙の1月末合計試算表と次の2月中の取引を合計して、2月の合計試算表を作成しなさい。

【2月中の取引】

- 1) 商品 ¥300,000 を売り上げ、代金は掛けとした。
- 2) 商品 ¥200,000 を仕入れ、代金は掛けとした。
- 3) 商品 ¥700,000 を売上、代金は掛けとした。
- 4) 仮店舗の出店のための支払手数料 ¥100,000 および広告宣伝費 ¥200,000 を普通預金口座から振り込んだ。
- 5) 所得税の源泉徴収額 ¥50,000 を当座預金口座から振り込んだ。
- 6) 商品 ¥800,000 を売り上げ、代金は掛けとした。
- 7) 仮店舗のつり銭を用意するため、現金を銀行で両替し、手数料として ¥500 を現金で支払った。
- 8) 仮店舗で商品 ¥900,000 を売り上げ代金は現金で受け取った。
- 9) 仮店舗の現金を集計したところ、帳簿上は ¥300,000 であったが実際には ¥302,000 であったため、差額を現金過不足として処理した。
- 10) 現金 ¥302,000 を普通預金口座へ預け入れた。
- 11) 商品 ¥300,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。
- 12) 普通預金の利息 ¥100 が普通預金口座へ振り込まれた。
- 13) 従業員の給料 ¥400,000 から所得税の源泉徴収額 ¥30,000 および従業員貸付金の元本返済額 ¥70,000 を差し引いた残額を当座預金口座から振り込んだ。
- 14) 得意先から掛代金 ¥900,000 が当座預金口座へ振り込まれた。
- 15) 仕入先へ掛代金 ¥800,000 を当座預金口座から振り込んだ。
- 16) 当座預金口座から ¥2,000,000 を定期預金口座へ預け入れた。
- 17) 家賃 ¥300,000 が当座預金口座から引き落とされた。
- 18) 水道光熱費 ¥10,000 および通信費 ¥20,000 が当座預金口座から引き落とされた。

第4問 (10点)

次の5月中の取引にもとづいて下記の問題に答えなさい。

6日 A商品50個を@ ¥600で売り上げた。

11日 6日に売り上げたA商品のうち10個が返品された。

18日 A商品40個を@ ¥500で仕入れた。

23日 A商品50個を@ ¥650で売り上げた。

問

(1) 移動平均法により、商品有高帳（A商品）を作成しなさい。

なお、売上戻りについては、商品有高帳の受入欄に記入し、

次月繰越高については払出欄に記入すること。

(2) 移動平均法にもとづいた場合の、5月のA商品の売上原価を求めなさい。

(3) 移動平均法にもとづいた場合の、A商品の次月繰越高を求めなさい。

(4) 先入先出法にもとづいた場合の、5月のA商品の売上原価を求めなさい。

(5) 先入先出法にもとづいた場合の、A商品の次月繰越高を求めなさい。

第5問 (30点)

次の決算整理事項等に基づいて、答案用紙の精算表を完成しなさい。

なお、会計期間は1月1日から12月31日までの1年間とする。

【決算整理事項等】

1. 当期に仕入れていた商品 ¥100,000 を決算日前に返品し、同額を掛代金から差し引くことにしたが、この取引が未記帳であった。
2. 小口現金係から次の通り小口現金を使用したことが報告されたが、未記帳であった。なお、この報告にもとづく補給は翌期に行うこととした。
 - ・文房具 ¥2,000 (使用済み)
 - ・電車賃 ¥5,000
3. 残高試算表欄の土地の三分の一は売却済みであったが、代金 ¥1,100,000 を仮受金としたのみであるため、適切に修正する。
4. 残高試算表欄の保険料のうち ¥12,000 は当期の7月1日に向こう一年分として支払ったものであるが、12月中に解約した。保険会社から翌1月1日以降の保険料が月割で返金される旨の連絡があったため、この分を未収入金へ振り替える。
5. 受取手形および売掛金の期末残高合計に対して3%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
6. 期末商品棚卸高は ¥300,000 (1の返品控除後) である。売上原価は「仕入」の行で計算するが、期末商品棚卸高については返品控除後の金額を用いる。
7. 建物および備品について次のとおり定額法で減価償却を行う。
 - ・建物：残存価額は取得原価の10%、耐用年数30年
 - ・備品：残存価額はゼロ、耐用年数5年
8. 給料の未払い分が ¥50,000 ある。
9. 手形借入金 は当期の12月1日に借入期間1年、利率年6%で借り入れたものであり、借入時に1年分の利息が差し引かれた金額を受け取っている。そこで、利息の前払い分を月割りにより計上する。

模擬試験 答案用紙 <3級>

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

第2問 (10点)

A	
B	
C	
D	
E	

①	
②	
③	
④	
⑤	

第3問 (30点)

合 計 試 算 表

借方合計		勘定科目	貸方合計	
2月28日	1月31日		1月31日	2月28日
	100,000	現金	25,000	
		現金過不足		
	300,000	普通預金		
	4,000,000	当座預金	1,000,000	
		定期預金		
	2,000,000	売掛金	700,000	
	1,000,000	繰越商品		
	300,000	従業員貸付金	100,000	
2,000,000	2,000,000	備品		
	300,000	買掛金	1,000,000	
	50,000	所得税預り金	90,000	
		備品減価償却累計額	800,000	800,000
		資本金	7,000,000	7,000,000
		売上	1,000,000	
		受取利息	100,000	
	1,000,000	仕入	70,000	
	400,000	給料		
	100,000	広告宣伝費		
	5,000	支払手数料		
	10,000	水道光熱費		
	20,000	通信費		
	300,000	支払家賃		
	11,885,000		11,885,000	

第4問 (10点)

1

商品有高帳
A商品 (移動平均法)

令和 元年	摘要	受入			払出			残高			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
5	1	前月繰越	100	400	40,000				100	400	40,000
	6	売上									
	11	売上戻り									
	18	仕入									
	23	売上									
	31	次月繰越						-	-	-	
		合計		-			-		-	-	

2	¥
3	¥
4	¥
5	¥

第5問 (30点)

精 算 表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	300,000							
小口現金	40,000							
普通預金	350,000							
受取手形	600,000							
売掛金	400,000							
繰越商品	500,000							
建物	1,000,000							
備品	500,000							
土地	3,000,000							
買掛金		500,000						
手形借入金		2,000,000						
仮受金		1,100,000						
貸倒引当金		20,000						
建物減価償却累計額		390,000						
備品減価償却累計額		280,000						
資本金		670,000						
売上		7,000,000						
仕入	4,000,000							
給料	700,000							
旅費交通費	100,000							
支払家賃	200,000							
保険料	50,000							
消耗品費	100,000							
支払利息	120,000							
	11,960,000	11,960,000						
固定資産売却 ()								
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
未収入金								
() 給料								
() 利息								
当期純 ()								
			0	0	0	0	0	0